

# 新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPPO



August 2015  
No.750



## 地域が戦国時代にタイムスリップ！？（妙高市）

毎年7月に開催されている、妙高山麓時代まつりの1コマ。地域の人が武将や腰元に扮し、すっかり気分は戦国武将。

4~5

特集

## 全公連・平成27年度事業計画等について

CONTENTS

- 2………… トピックス 県公民館大会・聖籠大会開催される
- 3………… 視 点 「今こそ学校と共に地域づくりを！」 新潟県生涯学習推進センター学習振興課長 武樋 正之  
ひ ろ ば 「ひとりにならない」～心カフェ絆～ 阿賀野市公民館運営審議会 副会長 桃井 玲子
- 6………… 実践記録シリーズ 「新潟市南区地域学～南区ゆかりの偉人、良寛と有願～」 新潟市白根地区公民館
- 7………… サークル交流 「究極の茶味を求めて」(長岡市) / 「料理を作って…「食べることは生きること」を学ぶ」(新潟市)  
素 顔 拝 見 金井 元樹さん・近藤 洋介さん(上越市) / 松井 一輝さん(見附市)
- 8………… お元気ですか 「生涯てくてく山歩き」 糸魚川市・細井 良治さん  
ネットワーク

# 県公民館大会・聖籠大会開催される

7月17日(金)に第66回新潟県公民館大会が聖籠町民会館で開催されました。

参加者総数は444名で盛会になりました。

主な大会プログラムは

- 1 永年勤続者表彰式
- 2 講演

(株)アルビレックス新潟

部長 岡田 朝彦氏

- 3 アトラクション

アルビレックス

チアリーダース

- 4 事例発表

## 〈永年勤続者表彰〉

この表彰は、10年以上公民館活動に貢献した公民館運営審議会委員や公民館職員等を表彰する制度で、今年は31名の方が受賞されました。表彰式には19名が出席し受賞しました。賞状の他に受賞記念品として「村上木彫堆朱・丸皿」が贈られました。  
\*受賞者一覧は3ページ掲示板に掲載

受賞者を代表して渡邊久仁子さん(聖籠町)が謝辞を述べました。



受賞者



謝辞 渡邊さん

## 〈講演・アトラクション〉

講演はアルビレックス新潟の岡田部長様が、大会テーマの「地域連携」について具体的な実践例を豊富に取りあげ熱弁をふる

いました。



講演 アルビレックス岡田部長

講演に続いてアルビレックスチアリーダースのアトラクションがありました。元気いっぴいのチアダンスに会場からは拍手喝采。合間にクイズもあり大変盛り上がりました。



3人の熱演

## 〈事例発表〉

主管地区を除く3地区から事例発表がありました。

- 1 上越地区

糸魚川市上南地区公民館

伊藤 幸雄さん

「上南地区公民館と

地域連携」

- 2 中越地区

まちなかキャンパス長岡

多田 博則さん

「まちなかキャンパス

長岡が目指すもの」

- 3 新潟市

中地区公民館

新田 直子さん

「地域づくりの主役を

サポートする公民館」



クイズに盛り上がる会場

# 「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



# 「ひとりにならない」 ここ ~心カフエ絆~

阿賀野市公民館運営審議会  
副会長 桃井 玲子



子育てに悩みはつきもの。そして子どもは、親にとって、いつまでも子どもです。一頃前の親の悩みは、子どもが本当に自立するまでの間でした。今は、親にとって安心できる自立がいつまでも訪れない若者が多くなっています。そんな責任をどうしても一人がかえ込んでしまうのがたいがい母親で、当の本人と共にいつまでも一緒に苦しむ。「心カフエ絆」という集いの場所を、ボランティア有志の女子で立ち上げて丸一年が経ちまし

た。「生きづらさ」を抱えた若者。その家族の方、親戚の世話やキオバチちゃん…。いろいろな方が都合のよいときに気軽に集えるそんな場所になっています。スタッフは、やはり、そのような体験をしてきた。そして今もなお、現在進行形であったりする母親たちです。主なスタッフの職種は、ケアマネージャー、カウンセラーなど、いろんな方々と接する仕事に就いている人が多くいます。スタッフ自身もこの集いは大変勉強になります。立ち上げはしたものの、正直

いうと半分素人の運営で、どんな方がどのような重さの悩みを抱えて参加するのか、それをうまく対処できるかと、私自身は当初思っていました。しかし、人と人との関わり事に正解や良いも悪いもありません。ただ「ひとりにならない」そんな場所であればいいのだと…「あなたを待っているよ…来てくれてありがとう」リーダーの佐藤さんのいつもの声掛けです。スタッフの皆の心からの思いでもあります。

# 視点



新潟県生涯学習推進センター  
学習振興課長 武樋 正之

## 「今こそ学校と共に地域づくりを！」

「14,681館」この数は全国にある公民館の数です(平成23年度社会教育調査)。これは、全国の小学校数20,852と、中学校数(10,557校)の間くらいの数です(平成26年度学校基本調査)。これは、公民館が地域にいかにか密着して設置されているかという点を意味しています。さて、私の担当に、学校の地域連携体制の強化に向けた取組があります。本県では、昨年度から全ての小中学校に「地域連携担当

教員」が置かれています。その担当教員の研修を実施しています(新潟市の学校は除きます)。これは、学校の地域連携の窓口を明確にすることで、地域とのつながりや絆の強化、コミュニティへの参画や地域課題の解決に取り組む自立した地域づくりの推進をしやすくするためです。地域連携担当教員の役割は①地域と効率的な計画的な調整を行うこと。②地域から情報を吸い上げ、教職員に伝え、有効に活用すること。③地域連携について教職員の促進と認識の共有化を図ること。④地域連携に基づく学習活動を計画し、教育計画に位置づけること。⑤学校から発信する情報

を整理し、効果的に家庭や地域へ伝えること。⑥地域の様々な情報を収集し、人材など地域の教育資源を発掘し、その活用を図ること。⑦地域コーディネーターや地域の団体(PTA、公民館、社会教育施設等)、企業等との連携の要として、連絡調整を図ること。等です。学校現場での体制が整いつつある今こそ、地域に密着して設置されている公民館から、生涯学習の視点で学校と共に地域づくりに取り組んでいただくことをお願いいたします。学校では担当者が公民館からの連絡を待っているはずでは

## 掲示板 HOT NEWS

- 第66回県公民館大会で表彰された方々
- 目黒 薫(新潟市新津地区公民館)
  - 雲尾 周(新潟市中央公民館)
  - 竹内 範子(新潟市東地区公民館)
  - 野崎 義和(新潟市白根地区公民館)
  - 佐野 洋子(新潟市豊栄地区公民館)
  - 吉田 幸策(燕市分水公民館)
  - 小平 重(燕市粟生津公民館)
  - 小澤 悦郎(燕市小中川公民館)
  - 石本 豊(五泉市公民館)

- 田中真喜子(三条市大崎公民館)
- 渡辺真理子(三条市嵐南公民館)
- 磯貝 清美(糸魚川市下早川地区公民館)
- 中村 久和(糸魚川市小湊地区公民館)
- 嶋田由美子(糸魚川市浦本地区公民館)
- 平内 芳美(糸魚川市上早川地区公民館)
- 村山 正夫(十日町市中央公民館)
- 川村 照夫(上越市立公民館)
- 飯田 達雄(上越市立公民館)
- 江口 文子(上越市立公民館)
- 高波 一晴(上越市立公民館)

## 県大会永年勤続者表彰受賞者

- 武藤 眞一(上越市立公民館)
- 吉田奈津子(新発田市中央公民館)
- 近嵐 宗賢(新発田市菅谷分館)
- 齋藤 修三(新発田市五十公野分館)
- 宮沢 夕佳(聖籠町公民館)
- 細貝 優子(聖籠町公民館)
- 渡邊久仁子(聖籠町公民館)
- 地引 永安(長岡市中央公民館)
- 鈴木九仁義(長岡市中央公民館)
- 関 明美(湯沢町公民館)



## 特集

## 平成27年度事業計画等について



公益社団法人  
全国公民館連合会  
会長 石川 正夫

新潟県のみなさん、こんにちは。

本連合会は、公益社団法人となつて4回目の定時総会を今年6月に開催し、平成27年度事業計画を明らかにしましたので、ここでご説明させていただきます。

### 〈はじめに〉

公民館は、これまで長い歴史と伝統を育み、地域に密着した公民館としての使命と役割を果たしてきました。また、毎年開催されている全国公民館研究集会では、社会の変化に適切に対応しながら、公民館職員の力量の向上や相互の連携、そして地域課題を始め現代的課題の解決に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、社会教育の中核的施設である公民館は、震災以降、その機能や役割がより一層強く期待されているにもかかわらず、多岐にわたる社会情勢の変化と厳しさの影響を直接受け、整理統合、職員の削減、管理運営費の圧縮などの課題が山積していま

す。さらに、近年の急速な少子高齢化、東京圏への人口の過度の集中と地域の人口の減少など、大きな課題も存在しています。

これらの課題には、それぞれの地域だけでは解決が困難なものもあり、その課題解決のために、全公連として関係各方面と連携を密に取り合い努力をしてみたいです。

そこで、今年度事業の推進に当たり、全公連として特に留意すべき柱となる考え方を3つ示し、みなさん方の一層のご理解とお力添えをいただきたいと思っております。

### 〈これからの公民館に求められる基本的な

#### 方向性や役割〉を学ぶ

国は、教育基本法第17条に基づき、「第2期教育振興基本計画」（平成26年度～29年度）を平成25年6月14日に閣議決定しました。この計画では、改正教育基本法の理念を踏まえ教育再生を実現するための基本的方向性が4項目示されています。その一つである「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」では、「社会が人を育み、人が社会をつくる好循環システムの構築の大切さが強調されています。

さらに、「まち・ひと・しごと創生法」が平成26年11月28日に公布施行されました。その目的には、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯

止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが謳われています。

具体的には、「学習活動を通じた高齢者等の地域活動への参画の促進」、「文化・芸術、スポーツ、生涯学習活動などにより、地域コミュニティの活性化を図る」、「ふるさとに対する誇りを高める施策の推進」などが挙げられています。

私たちは、公民館に携わる者として、これらの目的や基本理念を理解し、日本の将来を見据えた社会教育、これからの公民館のあるべき姿の理解を深めることが必要です。そして、公民館だからこそできること、公民館だからこそなすべきことを、より明確にし、人々の絆を紡ぎ、社会福祉の増進、安心・安全な地域社会の構築に努めます。

### 〈それぞれの公民館で創意工夫を凝らした

#### 特色ある事業・活動を推進する

今、公民館を取り巻く状況は、どこもかしこも厳しい局面ばかりです。だからといって、「○○がない、△△がない」などと、「いくら」ないものを挙げて何も出てくるものではありません。そんなときこそ発想を変え、「ある」ものを探し、それを活かすことが、「ピンチをチャンスに変える」ことにつながるものです。

今こそ、それぞれの「公民館の存在感を高める」ことが必要です。それぞれの地域で、それぞれの公民館で、人々が求める活動が積極的に展開されるようにしなければなりません。地域に住む人々の願いや思いが、具体的に実現できる公民館活動が展開されて、初めて公民館の必要性を実感できます。そこに、オンラインワンの公民館が実現されるのです。

東日本大震災以降、公民館に対する社会からの期待や要請は、単なる集いの場、単なる学習の場にとどまらず、以前にも増して多様化してきています。近い将来必ず起こるとされる大地震等に備え、公民館の耐震化等についても、機会を捉えて国への要望を積極的に行って参ります。

今、社会から公民館に求められているものは、正に「公民館力」の向上です。公民館がいつでも、どんな時でも、地域の方々にとって必要不可欠の存在となるよう、次のような公民館づくりに努めます。

- ① 誰もが、ちよつと立ち寄ってみたくなる、魅力ある公民館
- ② 自己向上の願いが叶う、学びを大事にする公民館
- ③ 人づくり・地域づくりに貢献できる、リーダーが育つ公民館
- ④ 人の温かさや心配りが滲み、地域の絆をつくる公民館

〈新方式による全国公民館研究集会・ブロック

大会開催への円滑な移行〉に努める

これまで上記2つの大会は、長い歴史と伝統を積み重ね、全国の公民館職員や社会教育に携わる方々に有益な研修の機会を提供し、地域の社会教育・公民

今年の開催予定（ブロック公民館大会）

ブロック	会期	主会場
北海道	10/1～2	北海道 恵庭市
東北	10/1～2	山形県 鶴岡市
関東・甲信越・静	11/14	東京都 小平市
東海・北陸	9/10～11	富山県 富山市
近畿	11/19～20	京都府 京都市及び長岡京市
中国・四国	10/15～16	鳥取県 鳥取市
九州	8/27～28	長崎県 長崎市

※ 中国・四国ブロック大会は全国公民館研究集会を兼ねる。

館活動を推進する上で、大きな役割を果たして来ました。また、各地からの参加者の相互交流による公民館情報の共有にも、多くの成果を挙げてきました。

こうした伝統と歴史を刻んだ大会が、社会の要請に応えられるよう再構築され、より充実するよう今後も十分な配慮と適切な対応を心がけ、新方式による大会が、従来の大会以上に意義ある大会になるよう努めます。

〈おわりに〉

全公連は、今年度も公民館の充実発展に関する事業に取り組んでまいります。

1 「公民館研究集会・大会等の開催」

第37回全国公民館研究集会（鳥取県）は、平成27年10月15～16日開催

2 「全国公民館セミナー」

開催期日／平成28年1月6～8日  
開催場所／国立オリンピック記念青少年総合センター

3 「相談助言・情報発信・連携協力事業の実施」

個別の照会など各種相談に対応、情報提供等をいたします。

4 「地域活動支援事業の実施」

都道府県公連からの申請に応じて振興活動費を助成いたします。

5 「公民館広報推進事業の実施」

公民館のICT活用を取り上げて、優秀なコンテンツを表彰します。

6 「月刊公民館の発行」

毎月1号ずつ年間で12号の発行をします。

7 「専門資料の発行」

今年度は「公民館災害対策（仮称）」を発行します。

8 「優良公民館職員表彰事業」

以上、3つの考え方の基に、これら8つの事業に取り組んでいきますので、新潟県公連のみなさんのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

# 実践記録シリーズ

## 209

### 新潟市南区地域学

～南区ゆかりの偉人、良寛と有願うがん～

新潟市白根地区公民館

#### 【はじめに】

当公民館では平成25年度より「南区地域学ゆかりの偉人と題し、新潟市南区(旧白根市、味方村、月瀧村)にゆかりのある偉人を学び、次世代に伝える人材育成や地域の活性化のきっかけづくり」に活かすことを目的に毎年実施しております。

#### 【準備にあたり】

今年度、取り上げた偉人は前年度のアンケートで要望の声が高かった良寛に決まりました。そこで南区と良寛の関わりを調べていくうちに新飯田地区にゆかりがあり、その中心人物が有願うがん【注釈】であることに気づきました。そこで地元で有願さまについて普及活動をしている有願会事務局に協力をお願いしました。

#### 南区ゆかりの偉人「良寛と有願」の学習プログラム

回	日時	内容	講師(敬称略)
1	11月18日(火) 8:30～12:00	現地研修「良寛さまが歩いた道を歩きましょう」～有願の里、新飯田まち歩き～(雨天決行)※バスの出発時刻:白根学習館(8:30)～新飯田地域生活センター(8:50)	山田 泰夫 ※(有願会事務局)協力:有願会 まきあき
2	11月25日(火) 14:00～15:30	「江戸時代の書画における有願、有願の遺墨を鑑賞しよう～見方と味わい方～特別公開「有願の遺墨(書画)」協力:有願会	岡村 鉄琴 (新潟大学教授・越佐文人研究会代表)
3	12月2日(火) 14:00～16:00	「良寛と有願」～有願の実像と良寛との関係～特別公演 大型紙芝居「有願さま」協力:白根小学校地域教育コーディネーター他	
4	12月9日(火) 14:00～15:30	「良寛正伝」～良寛・由之兄弟と白根～	富澤 信明 (新潟大学名誉教授・東北民芸館館長)

#### 【学習内容】

●第1回「現地研修「良寛さまが歩いた道を歩きましょう」～有願の里、新飯田まち歩き」  
《40名参加》  
募集段階では、午前中のみの実施予定でした

が参加者が定員を大きく上回り急遽、午前と午後2回に分けて行いました。有願会のメンバーがガイドを行い、地元の言葉でユーモアを交え、新飯田地区の町内史跡などを巡りました。

●第2回「江戸時代の書画における有願有願の遺墨を鑑賞しよう～見方と味わい方」  
《42名参加》  
歴史的に貴重な有願の遺墨(書画)を展示し、鑑賞しながら講師より、釈文の解説や読み方のコツを学びました。

●第3回「良寛と有願」～有願の実像と良寛との関係～  
《45名参加》  
資料を元に時代背景や書体から読み取れる有願の人物像を説明し、良寛と有願の関係について学びました。

また、この回は講座の前に、白根小学校の地域教育コーディネーターが中心となり、児童や地域の方々で作成した大型紙芝居「有願さま」を公演していただきました。



「大型紙芝居」公演の様子



「円通庵」で記念集合写真

●第4回「良寛正伝」～良寛・由之兄弟と白根～  
《39名参加》  
膨大な歴史的資料を元に、良寛と白根の関係について学びました。その他にも、講師の研究対象の一つである白根にゆかりのある堀部安兵衛のお話も講演の中で聞くことができ

ました。

#### 【参加者の声】

今日は盛りだくさんの内容で有願様及び新飯田町内の歴史を教えてくださいました。満足な意義深い1日でした。これからの3回の研修内容楽しみにしています。

・実物を鑑賞しながらの講演でわかりやすく受講できました。資料の説明もまったく初めての私でもわかりやすく勉強になりました。

#### 【成果】

今回の地域学では、講座の事前準備に南区内で活動している歴史好きな個人や団体に集まっていただき準備会を実施しました。この準備会を通して、今まで点と点だった人を繋げる良いキッカケとなり、公民館としても多くの情報や事業のヒントをいただける良い機会となりました。

また、有願会や白根小学校の地域教育コーディネーターと事業を通して連携しそれぞれの活動の成果を発表する機会を提供することができました。

#### 【今後の活動について】

事業の課題としては毎年、南区はもとより近隣からも多くの参加をいただいているのですが、年齢層も幅広いので受講生を中心とした自主サークル化に上手く繋げられていません。

今後、地域の活性化に向け人と人、人と地域がつながる取り組みをしていきたいと思っております。



有願自画像

#### 【注釈】

有願は1738年に現在の三条市で生まれた僧侶で、晩年は新飯田の円通庵に隠居した。20歳ほど年下の良寛と親交があり、良寛は何度も新飯田の有願和尚のもとを訪れていたと言われている。



究極の茶味を求めて

煎茶 長楽会

平成9年にスタートしました煎茶長楽会は、月3回水曜日の午後、女性11名が小川流煎茶を学んでいる会です。

季節に合わせておいしいお茶を淹れられることを第一目標に煎茶、玉露、冷淹、番茶の手前を学んでいます。おいしいお茶を淹れるには湯加減、茶葉の量、蒸らす時間が大事だということを学び、その時々異なる茶味に苦心したり納得したりしております。

お稽古の折には先生方が床の間に設えてくださる掛軸やお花を拝見し、文人趣味の世界に触れられるのも勉強になり、

楽しみます。



また年一回他の会の人とお茶会を開き交流しています。これからも究極の茶味を求めて精進したいと思います。

長岡市・煎茶長楽会  
川上 五千恵 記

料理を作って「食べる」とは生きること「を学ぶ」

ベジ家の会

曾野木地区公民館主催で開催された身体に優しい「ヘルシー料理教室」に参加しました。しかし、もっと料理を学びたいという意見が多かったことから料理サークルを立ち上げました。そして、サークル名

は先生の経営するレストランの名前と野菜をたくさん使った料理を学びたい気持ちから「ベジ家の会」としました。先生が、野菜・きのこ・とうふを使っただけおいしくてボリューム満点のレシピを考えてきてくださいます。メインからデザートまで手順がやさしく、ちよつとしたポイントを教えてくださいるので、男性メンバーも家族に作って喜ばれています。料理を学ぶことで友達が増え、家族を笑顔にでき毎回楽しいなと感ずる「ベジ家の会」です。料理を作って「食べる」ことは生きること！そこに美味しい笑顔」を学んでいます。



新潟市・ベジ家の会  
渡邊 孝子 記

上越市社会教育課 社会教育係

主任 金井 元樹さん(左)  
主任 近藤 洋介さん(右)



近藤さんは平成27年1月から、金井さんは同年4月から当該の配属となり、公民館事業を始め、多くの業務を担当しています。

予算・決算の面でも係の業務をきっちり支える財務大臣の金井さん。あっという間に講座の企画をしています。オシャレなメガネは時々変化しているので注目です！！

フットワーク軽く、地域の声を生かす近藤さん。過密なスケジュールも、クロスカントリースキーで鍛える体で乗り切ります！！

そんな二人は同郷で旧牧村の出身。年齢も1歳違いで、保育園、小・中学校も同じ。職場が一緒になるのも二度目です。そのせいか、多くを語らなくても二人は分かり合っているような気が…。頼れる二人の先輩の今後が大注目です！

(上越市社会教育課 社会教育係 大坪 美樹 記)

見附市新潟公民館

主事 松井 一輝さん



生まれも育ちも見附。見附をこよなく愛する見附のさわやか元気印、松井さんを紹介します。松井さんは公民館2年目で毎日素敵な笑顔を振りまいています。

典型的なA型男性の松井さん。気配り上手で几帳面、おまけに話し上手。そんな松井さんは、子ども達の良きお兄さん。おじいさん、おばあさんにとっては良き息子。誰からもモテモテなんです。プライベートなことはあまり語らず…いまだに多くの謎と魅力を隠している松井さん。今後、地域の生涯学習・公民館事業の要としてなくてはならない存在となることと思います。

(見附市上北谷公民館 野本 博也 記)

素顔拝見

ネットワーク



総会の模様

今年度の総会が7月24日(金)に新潟県会館で開催されました。総会には県教育委員

平成27年度 新潟県社会教育団体懇話会

新潟県社会教育団体懇話会とは、県内の社会教育団体として構成された10団体で組織され、新潟県が各団体に活動補助金を交付



講演会 丸田 秋男氏 (医療福祉大学副学長)

会の関係者と加盟団体の代表が出席して開催されました。総会後は研修として講演会が行われました。

会長は事務局の団体の長で、今年度は公民館連合会の佐藤 実会長が就任しました。構成10団体は次のとおりです。1 新潟県生涯学習協会 (平山 征夫)

- 2 新潟県公民館連合会 (佐藤 実)
3 新潟県社会教育委員連絡協議会 (鈴木 聖一)
4 新潟県子ども会連絡協議会 (須田 貴子)
5 新潟県小中学校PTA連合会 (堀川 義徳)
6 新潟県高等学校PTA連合会 (野澤 裕郎)
7 日本ボーイスカウト新潟連盟 (井上 法英)
8 (社)ガールスカウト新潟連盟 (白井 雅子)
9 新潟県婦人連盟(外石 栄子)
10 新潟県健康少年連合会 (佐藤正栄治)
\* ( )内は団体代表者

お元気ですか

「生涯てくてく山歩き」

細井 良治



(糸魚川市浦本地区公民館)

65歳まで民間会社に勤めており、退職後故郷に戻り地域活動に取り組み地域の活性化、安全安心な住みよい地域づくりに微力ながら活動しております。糸魚川市は、海あり山ありで自然環境は日本と自負しております。

私の山歩きは、30代からですが、地域の山岳メンバーに支えられ現在も何とか登っております。70歳を過ぎてから43日間かけて、遍路してまい

りました。距離にして約1300キロ歩きました。その時に人間て凄いな!と実感しました。山であるうと、何の活動であらうと、目的に向かって一歩でも半歩でも前向きに進まなければ目的地に着かないこと。大願成就是人の協力が必須なこと。大勢の人に支えられている「感謝」と事を成し遂げる「努力」を忘れないよう、生涯現役で挑戦したいと思っております。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をりタイした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

道路ふれあい月間

毎年8月は「道路ふれあい月間」です。

『いい出会い いい道からの 贈り物』

国土交通省平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語一般の部最優秀賞

新潟県道路整備協会

会長 (田上町長) 佐藤 邦 義

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

今年も県大会が無事終わりました。大会の運営にがんばった実行委員のみなさんに感謝申し上げます。「さあー終わった、明日からは遊んで暮らせるぞー」と事務局でつぶやいたら、隣の席の某協会の事務局長が「月報の編集の

締め切りが」と厳しいお言葉。当事務所は、私以外の4人は全員女性。50代、60代で、もう人生怖いものなしという熟女の方々です。気が小さい私は、毎日、余計なことはしゃべらず下を向いて仕事をしています。4時までには、体の調子、いまひと (田原)